

農地・水保管理支払交付金 平成25年度拡充内容について

平成24年度から、2期目の対策がスタートしまして、平成25年度は、これまでの取組に加え、農地集積が進展していく中、農地・水の管理作業を集落で持続的に担うための環境を整備する取組に対して追加的に支援していく予定です。具体的には、カバープランツの植栽など畦畔管理・水管理の省力化等に資する集落の取組を支援します。

向上活動支援交付金

農地集積の進展に対応した活動への加算

持続的な水管理のための取組について

- ・末端ゲートやバルブを改良したり、自動化にすることができます。
- ・給水栓や取水口を改良したり、自動化にすることができます。

水管理の省力化を図り、管理の粗放化による過剰な用水利用、取水に要する経費の増大、下流域の水質悪化を防止し、地域水資源を保全します。

持続的な畦畔等管理のための取組について

- ・カバープランツの設置が可能になります。
- ・法面への小段の設置が可能になります。

畦畔管理の省力化を図り、管理の粗放化による病虫害の増加や畦畔侵食等を防止し、農村景観・排水路の水質を保全します。

高度な農地・水の保全活動のメニュー拡充

- ・農地集積の進展に対応した活動への加算は、高度な農地・水の保全活動のメニューの拡充として実施します。
- ・高度な農地・水の保全活動の支援単価については平成24年度の枠組みを継続します。
(田: 500円/10a、1,000円/10a、1,500円/10a、2,000円/10a等)

- ・末端ゲート、バルブの自動化等・・・9p/箇所
- ・給水栓、取水口の自動化等・・・9p/箇所
- ・カバープランツ(地被植物)の設置・・・15p/100㎡
- ・法面への小段(大走り)の設置・・・3p/10m



【給水栓の自動化】



【小段の設置】



カバープランツの例
【シバザクラ】

向上活動成功のポイント!

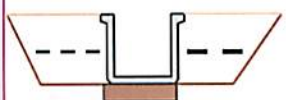
「埋戻し」

コンクリート水路の据付が終わると、水路の埋戻し作業に入ります。

- ①埋戻しには残泥その他を除去した、良質な土を埋戻すようにしましょう。良質な土を使うことにより、締固めがうまく行うことができます。
- ②埋戻し作業は、機械により土を投入したり、人力により敷均すこととし、両側同時にまた、均等に埋戻しを行うようにしましょう。水路の両側から均等に埋戻しを行います。埋戻し厚さは30cmを越えない範囲で水路の両側同時に埋戻します。両側同時に埋戻すことにより、水路が動いたりするのを防止することができます。

【トピックス】

水路の締固め作業によく使われるのが「タコ」といいます。ある程度の大きさの(丸太とか)に2~4本の持ち手がついてそれを人力で持ち上げて締め固める単純なものです。形が海にいるタコに似ているからそう呼ばれています。埋戻し表面を整形して完了です。



【水路の両側同時に埋戻しをおこなう締固めをします。埋戻し、締固めを数回繰り返します】



水路の締固め作業によく使われる「タコ」

県庁本館で生きものマップ、パネル展示を開催しました

1月21日(月)~24日(木)の4日間、栃木県庁15階展望ロビーにて、栃木県と県協議会の共催により、本対策に係るパネル展示を開催しました。また、農村地域をモチーフとした「手づくりジオラマ」を展示しました。会場では、平成23年度の本対策の結果や生きもの調査の実施状況・結果、エコアップ活動の取組事例等をパネルで紹介するとともに、活動組織が作成した「田んぼまわりの生きものマップ」を展示しました。

展示を見に来られた方は、県内の生きもの状況や活動に大変感心を持たれていました。



「ステップアップ推進講座」を開催しました！

平成25年1月25日（金）、芳賀町民会館にて、共同活動における一期対策の取組成果や、向上活動における活動状況など、5つの活動組織の生の声として事例発表を行いました。講座には、650名が参加し、取組事例を熱心に聞き入っていました。共同活動支援、向上活動支援の取組のステップアップとして一部紹介します。

【共同活動】

「活動の充実と組織体制について」

与能資源保全会（芳賀町）
会長 大根田 進氏



与能地区には、3本の基幹排水路が布設されています。圃場整備事業が完了して以来、土砂や空き缶、雑草が堆積しており、「これらの路線の泥溜りが急務」と理解していました。また大多数の農家がU字溝からの溢水に頭を悩ませており、**防止策として嵩上げの要望**に対応してきました。

①U字溝嵩上げ

嵩上げ箇所は相当な数となりそうだが、何回も使用できる「型枠」を作ろう。使用後は清掃し、曲がらないように油を塗っておこう。



②大排水路掘削

人力と機械力を合わせて仕事にとりかかった。考えていた以上に、仕事はスムーズに進んだ。川底のコンクリートが顔を出し、真っ白となった。



鉄筋を使った現場打ちで施工

- ・型枠を使っているから作業効率もいいわ！！
- ・施設の長寿命化はバッチリ！！
- ・こんなにキレイに、しかも簡単に出来るならもっとやろう！

重機を使用し、数十年手のつけられなかった堆積した泥を浚った。

- ・いやぁキレイで気持ちいいわ！！
- ・仕事に自身が持てるようになった！
- ・川の流れも違って来たわ！
- ・あと3路線！1年に1本、全部やろう！

第2期対策への意気込み

施設の維持管理活動に重点をおきながらも、非農家を取り込んだ活動を勉強して、地域の更なる活性化に努めていきます！

活動組織からの声

共同活動を通じて、県内各地域で様々な取組が展開されています。そこで、活動組織間の情報共有と組織運営の充実に役立てていただくため、地域の取組成果やこれまでの苦労話や、今後の抱負などを「活動組織からの声」と題して紹介します。

今回は、那須塩原市の「上大貫上環境を守る会」

対象とする農村資源

指定農用地	田 9, 213 a	田 9, 213 a
畑	174 a	畑 174 a
林地	- a	林地 - a
計	9, 387 a	計 9, 387 a
農道	15.3 km	この数 - km
農道	6.4 km	



上大貫上環境を守る会の皆さん

◆虫とアヤメを増やして地域環境を守りたい

上大貫上環境を守る会 代表 日井 勲さん

那須塩原市の南側に位置する本地域は、市の南東方向に流れる帯川の恩恵と基盤整備実施により、良好な農地・農村景観が保たれている地域です。しかし、後継者不足と農業従事者の高齢化に伴い、農村環境の悪化と集落機能の低下が懸念されていました。本対策での活動を契機に農家、非農家が一緒に活動することになり、集落内での話し合いや共同活動の取組により、交流の場も増えました。

本活動も5年目を迎え、1年目から行っているアヤメの植栽や虫の観察会などを行っていますが、なかなか参加者が増えずどう増やしたらよいか問題でした。そこで活動の開催通知を集落内の回覧ではなく、1軒1軒に通知を配る様にしたところ、年々参加者が増え、今では欠席者がいないと「体調が悪いのかな？」「何かあったのかな？」と地域内でお互いを気配りするようになり地域の和ができました。育成会から老人会まで参加していただき活動しています。

二期対策の抱負は、今の活動を広く維持しながら、1期対策から続けているアヤメの植栽を広めて景観形成に務めることと、もっと虫が飛び交う環境を増やしていきたいことです。近隣の方々も虫の観察に来るようになりました。これも構成員一人一人の活動に対する意識向上が虫の増加に繋がっていると感じています。



代表 日井 勲さん



子供も参加してのアヤメの植栽



集落内を飛び交う凧

【向上活動】

「外部発注と活動組織の係りについて」

逆面エコ・アグリのリ（宇都宮市）
藤井 伸一 氏



逆面エコ・アグリのリ地区は、フクロウを育む里として知られております。生きものと農村の共存に積極的に取組、生態系にも配慮し、**糞堆り水路からコンクリート水路への更新**をおこなっています。

現場立会い



【基準高の設定】



【水路法線の設定】

丁張確認



【地権者の立会いにより高さ確認】



【水路法線の確認】

業者・地権者・組織の代表・土地改良区立会により水路の高さや法線等を決定しています。

現況水路敷高・取水口高などと、現地に布設する製品による都合が生じないように、予め三者による打合せをしています。

完成検査



【構成員も立会いで完成検査】



（例）カエル蓋の設置

第2期対策への意気込み

- ・工事に伴う一連のプロセスをプロセスが管理された状態を確立し、実施したい。
- ・工事に伴う不慮の発生を予防するための対策「予防処置」を実施したい。
- ・より良い方法、工法導入への対応、改善を実施したい。
- ・糞堆り水路のコンクリート化による生きものの移動に配慮しカエル蓋を設置する。

栃木県元気な農業コンクールの受賞組織が決定しました

元気な農業農村づくりに資するため、栃木県、栃木県農業協同組合中央会、(株)下野新聞社の主催により実施した「第6回栃木県元気な農業コンクール」の受賞組織が決定しました。

〇とちぎ元気大賞（栃木県知事賞・関東農政局長賞）

【姿川環境保全会（宇都宮市）】

- ・農業を足場にして、すばらしい活動を展開しています。JA、農協観光などとの連携に活路を見だし、幅広い活動を行っている点も評価されました。活動が年々成熟しております。



〇とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

富屋西部ホテル愛護会（宇都宮市）

〇特別賞（栃木県農業協同組合中央会長賞）

ためきの郷を守り隊（那須町）
上山資源保全会（益子町）

【受賞組織は次回、農地・水・環境だより【第18号】で特集いたします。】